

ベーシックインカムと財政基盤

黒田インターナショナル

黒田 毅

国民総生産の50%を徴収し、分配することは、貨幣経済と通貨変動性における自国経済が、政府における費用とともに、新しい経済と社会システムへの転換を行う。これらは自由経済システムにおける世界に対して、新しい国家システムへの転換を行う。

これら税収は、すべての国民への居住環境の提供を先端性とともに、その大量生産におけるコストダウンとともに実現する。

これら税収は、社会参加への国民の権利とともに明示し、ソサエティ5.0への転換を国内において実現する。

これら国内における新しい開発は必ず内需において実現し、国内における先端技術と産業の育成を行う。関税の引き上げとともに、国内産業の保護を行うことは、世界における自由貿易体制への新たな参加を行い、その産業水準の引き上げとともに、国内における需要を達成する。

ベーシックインカムは基本的な生活への政府における補償なのである。これら新社会主義は、技術とシステムの進歩、現状における新しい産業とエネルギー革命とともに、ネクストソサエティの創造を可能とする。

これらは貧困層の解決と、社会参加への機会の創造を、未来という現実の創造とともに実現するのである。

これらは新しいシステムの進歩において、その効率性の向上を飛躍的に有することにおいて、その生産性対比における豊かさの公正な分配を実現する。